

論壇

バンコックの永続的交通問題

サンガ・サバシリ

タイ国科学技術
エネルギー省事務次官Traffic : The Everlasting Problems
in Bangkok

Sanga SABHASRI

Permanent Secretary, Ministry of Science, Technology and Energy

どの大都市にも共通する問題だが、バンコックの交通問題も、それが社会・経済に及ぼす影響が大きいにもかかわらず、取り組み方が難しい。市警察総監マナス・クルスチャヤン警察軍中將も「現在約180万台のバンコック市内の車両保有台数は、毎月12万台ずつ増加している。このままの状況が続けば、3年以内に市内の交通は完全なマヒ状態に陥るだろう」と語っている。また、通勤ラッシュのひどさは、ある大臣が、ふつうなら自宅から15分で行ける目的地まで、2時間かかってしまったというエピソードがあるほどである。

バンコックの交通問題をまとめると、・道路と車両のアンバランス ・不完全な道路と能率の低い利用状態 ・都市計画面での問題、の3点に集約されよう。これらの問題を解決するために、我々は短期的および長期的な以下のような戦略を立てている。短期的戦略としては、①交通システム管理の改善、②交差箇所を減らしたり右折禁止を設けたりするなどの、交通の流れを改善するための新しい交通規制の導入、③交通法規遵守のための厳格な取締りとフォロー、④石油、ガスのパイプライン輸送への転換、⑤トラック・観光バスへの課税強化、⑥これらの対策および既存対策の総合的展開などであり、長期的戦略としては、①民間企業による高架式の道路・鉄道建設推進；政府機関が投資家開拓面での援助を行う、②有効な大量輸送機関の確立；電車の導入と首都圏バス路線の質・量的改善、③内務省の研究結果に従った自動車台数制限、④シンガポール方式の車両都心進入規制導入、⑤時差通勤・通学の推進、⑥スクールバスの奨励・推進；自家用車による送迎を減らす、⑦より高度な交通管制コンピュータシステムの導入、⑧鉄道の立体交差化、⑨ボトルネックとなっている橋の改良、⑩大重量トラックの迂回措置、⑪車線を分離するフェンスの建設、⑫車両と運転者の質のコントロール、⑬衛星都市の建設と土地の有効利用、⑭商品流通基地の建設、⑮運送会社の郊外移転、等が考えられている。ただし、内務省は、早急に①まず政府機関と商業銀行から時差通勤を開始する、②スクールバス制度の整備、③大量輸送電気自動車システムの導入、④日中の市内へのトラック進入禁止、の4項目の対策を講ずることを決定している。

これまで多くの外国企業がバンコックの交通問題を研究してきた。しかし、そのいずれもが実行には莫大な投資が必要で、首都の交通改善にのみ投資を集中させることは、国民全体の立場からは不公平と非難されかねない。また一方の緊急課題は、「安全対策」である。運転者はモラルと社会に対する責任を持つよう訓練され、車両は良好なコンディションに維持されるべきである。また、オートバイの数の多さと、概して良好ではない運転行動は、我々が日常生活で交通事故に遭遇する危険性を確実に増大させる要因となっている。

しかしながら、我国政府は当然のことながらこれらの問題解決に意欲を持って対処しており、徐々に改善されるものと確信している。

原稿受理 昭和63年10月27日